

「朝日町・東海道筋を訪ねる」



主催：三重県・みえ歴史街道構想四日市地域推進協議会

協力：四日市市・菟野町・朝日町・川越町

平成22年7月3日(土)午前9時から13時に開催しました。

当日はあいにくの雨となりましたが、85名の参加者達は朝日町歴史博物館の学芸員より、「朝日町の歴史と東海道」について解りやすく、興味深いお話を伺った後、かつて交通の要衝だった東海道を当協議会委員の解説を聞きながら、いにしえに思いを馳せてウォークしました。



教育文化施設玄関前にて受付。



朝日町歴史博物館での講演の様子。



柿城跡展望台からは町の様子が一望できます。



徳川家にゆかりあるお寺、浄泉坊。参勤交の大名はこの門前で駕籠から降りて黙礼したと言われています。



資料館。大正5年に役場庁舎として建てられました。国の有形文化財。



小向立場跡付近では、「蛤茶屋」が建ち並んで賑やかに客を呼びこんでいた様子などの説明がありました。



「まちかど博物館」(安達微笑仏館)には、安達さん作の円空彫や木喰彫、レリーフ展示が見られます。



真光寺。桑名藩主、松平定重が贈った梅鉢の家紋入り大手水鉢が本堂左脇にあります。

この後、金光寺の御堂と堤防付近を見学、解説を聞いた後解散となりました。

ご参加頂きました皆様ありがとうございました。